

性別にかかわりなく、みんなが尊重し合い、その人らしく生きる。

仕事も暮らしも楽しむ、あなたを応援する情報誌です。

**特集記事**

令和6年度 男女共同参画フォーラム

講演 坂東 真理子

「あなたの人生はもっと輝く！  
～思い込みを手放し、  
未来を広げるコツ」 ..... P.2

ワーク・ライフ・バランス推進優良企業表彰 ..... P.6

新しく認定された  
ワーク・ライフ・バランス推進企業 ..... P.7

ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度 ..... P.8

《講座レポート》  
男女共同参画の推進と多様性をみとめあう  
社会づくりのために講座を実施しています ..... P.9

《INFORMATION》  
・新宿区の子どもショートステイ協力家庭に  
なりませんか? ..... P.10  
・一時的に保育が必要なお子さんをお預かりします  
・ライズ新宿 BOOK CLUB ..... P.11

ライズ新宿と区民団体との連携講座公募  
これから開講予定の講座  
『ライズ新宿』編集委員会がスタートしました ..... P.12



# 男女共同参画 フォーラム

区では男女共に活躍できる社会づくりへの意識を高める催しとして、公募で選ばれた区民による実行委員会と区が協働で男女共同参画フォーラムを開催しています。第21回男女共同参画フォーラムの様子を、一部抜粋してお届けします。

オリヅ

東京都立新宿高等学校チアリー  
ティング部GLITTERSに演技を披露し  
ていただきました。



ワーク・ライフ・バランス  
進藤慶良・三集表形式

## ワーク・ライフ・バランス 推進優良企業表彰式

ワーク・ライフ・バランスとは、「仕事と生活の調和」を意味する言葉です。新宿区ではワーク・ライフ・バランスの実現に取り組む企業の認定を行っています。令和6年度は、その中から特に優れた取り組みを行っている区内企業2社を表彰し、吉住健一区長から表彰状と表彰楯が贈られました。各企業の表彰のポイントは、6ページ



ニアンジ一の氣寺らニ事

講演 坂東眞理子  
「あなたの人生はもつと輝く！  
～思い込みを手放し、未来を  
広げるコツ～」

昭和女子大学総長の坂東眞理子さんを講演者に迎え、思い込みを手放し、女性がこれから社会を生きていこう上で必要なことや、人生を豊かに生きるためにのコツやヒントについて、ご自身の体験も踏まえながらお話ししいただきました。

第2部

講演 坂東眞理子

「あなたの人生はもう輝く!  
～思い込みを手放し、未来を  
広げるコツ」

昭和女子大学総長の坂東眞理子さんを講演者に迎え、思い込みを手放し、女性がこれから社会を生きていく上で必要なことや、人生を豊かに生きるためにコツやヒントについて、自身の体験も踏まえながらお話しいただきました。

誰でも持つてゐる想ひ込み

「アーノンシャス・バイアス」は無意識の思ひ込みのことで、当たり前だ、無意識だと思つていた」とだが、実は偏見

分の可能性を抑えていたり、あるいは思い込みを手放すきっかけ

どもを「悪い込みのめがね」で、偏見で見てしまつてしまふ」とがあるかもします。

例えば会場にいらっしゃる皆さんは実感している方も多いと思いますが、女性でも家事がとても上手な人とあまり得意ではない人がいます。実は、

開催日  
2月15日(土)

# 会 場

# 京都立新宿高等学校 アリーディング部GLITTERS

1部

## ワーク・ライフ・バランス 推進優良企業表彰式

2部

講演 坂東眞理子  
あなたの人生はもっと輝く!  
思い込みを手放し、未来を広げる

Three men in dark suits and ties are standing on a stage with a wooden floor and a yellow wall in the background. Each man is holding a small red ribbon award. The man on the left is gesturing with his hands, while the other two have their hands clasped in front of them.

社会で成功する女性が、とつても頭のいい人、特別な才能のある人、豊かな家に生まれ育った人であれば、みんなが納得すると思うのですが、普通の女性には、ちょっと無理なんじゃないの?と思いつ込んでる、ロールモーデルになる女性は少ないと感じている方もいるでしょ?。これが女性を縛っているアンコンシャス・バイアスなのです。

では、どうすればいいのでしょうか。まず女性自身が「自分も思ひ込みにとらわれていいのではないか」と気が付く。それこそ私は、50年前、国連の場で先進国の人たちが言っていた「性別役割分担」という言葉を聞いて、

## フォーラム実行委員からの一言

初めて実行委員として運営に参画しました。一年間素晴らしい仲間とアイディアを出し合い、助け合って作り上げたフォーラムが無事終了し、感無量です。たくさんの方々が笑顔でフォーラムを後にされる姿を見て、久々に達成感を味わうことができました。

(大原 俊一)

男女共同参画の活動をしたことで今回も貴重な経験と多くの学びを得たことに感謝します。坂東先生の講演は、テーマに沿って分かりやすく、中でも無意識の「思い込み」を変えることで、自分の可能性が広がるとの内容はとても心に響き勇気をいただきました。あなたの人生はもっと輝く! 一人ひとりが笑顔になれるフォーラムを作りたいです。 (金長 のぶ子)

日頃から思い込みの強い私は、自分で自分を束縛してしまっています。長年の習慣、性格もあり、なかなか解放されません。坂東眞理子先生の適切な言葉での助言は、すんなりと心に届きました。自分らしく生きるということとは、簡単ではありません。「思い込み」という荷を下ろし、これから的人生を、もっと身軽に気楽に進んでいきたいと思います。 (君塚 礼子)

坂東先生の講演を直接お聞きできたことは大変勉強になりました。終了後の皆さんのいいお顔を拝見し、このフォーラムに携わって本当に良かったと思いました。「毎年の講演を楽しみにしています。」などのアンケートも励みになります。新しい人たちとの出会いもあり、委員会はとても充実した1年でした。

(富岡 文子)

新しく入られたメンバーに新鮮な刺激を受けながら皆さんと作り上げたフォーラムは、とても貴重な経験になりました。悩みながらも、本を読んだり考えたりすること自体を楽しめるようになったことは、私にとって進歩かなと思います。今回のテーマ探しは大変苦労をしましたが、皆さんの感想に大変良かったとのご意見が多く報われた想いでした。 (中村 和子)

中村 和子)

参加された方々のアンケートを拝読すると、たくさんのご意見を伺える。委員が築き上げたものがどう届いたか…受け止め方は千差万別であるのは当たり前。気付きが生まれたら宝もの。一人ひとりが心に刻み、何かが背中を押す原動力になれば幸い。明日は変わる…きっと変わっていく。

長崎 恵子)

有志の人達で一から決め、開催に向けて進んでいくことは素晴らしいことだと思います。参加いただいた皆さんからも喜んでいる声がたくさん聞けて良かったです。来年度も皆さんに興味を持っていただき、たくさんの参加をいただける講演会を開催いたしましょう。新しい方が参加してくださることを心より願います。

(藤野 美千代)

今年度、初めて参加させていただきました。最初は不安もありましたが、講演者の選定に頭を悩ませたり、お話ししていただくテーマを考えたり、パープルリボン運動のパネルを手作りしたり…。和気あいあいとした雰囲気の中で、楽しく活動に関わることができました。フォーラム当日、司会の大役を仰せつかったのも貴重な体験です。（村井 未来）

村井 未来)

スキルを持つこと

- 「なるほど」。そういう考え方があるのか」と気が付きました。決めつけないで、個人個人にはいろいろな能力や適性があるんだよ。やつてみよう、という気持ちになることがとても大事だと思ひます。
- スキルを持つこと
- では、どうやってチャレンジが必要な

「これからの女性は、女だから「無理に仕事しなくともいい」「風邪たりが強いのに責任のある地位に就くなんて無理」「家庭のために自分を犠牲にするのは仕方ない」といったアンコンシャス・バイアスから解き放たれて、定年まで仕事をし、キャリアや経済力を持つ覚悟が必要だと思います。誰かが面倒を見てくれるだらうではなく、自分で選択し、努力する」ことが必要です。こんな仕事を就くのか、自分の人生の中で仕事をどう位置づけるのか。私自身も

## 年齢を重ねても

「なるほど。いつも考へ方があるのか」と気が付きました。決めつけないで、個人個人にはいろいろな能力や適性があるんだと。やつてみようという気持ちになれることがとても大事だと思います。

### スキルを持つこと

では、どういったチャレンジが必要なのか。女の子にはいろいろな学力、特に情報系のスキルが必要ですね。Aー（人工知能）だからこそ、Aーが間違つたことを書いていかないかどうか、人間が判断するためにも広い教養が絶対必要です。

これからは「デジタルの時代だから僕たち勉強しなくていいんだ、なんて思つている人がいたら大間違です。そして、そういう人がいるから勉強した人が有利になるのです。女だろうが男だろうが、勉強している人、スキルを持つている人、人の知らないことを知つている人が有利です。特に理科系、女の子たちは理科系を学んでもらいたいと思ひます。

### バイアスから解き放たれて、定年まで仕事をし、キャリアや経済力を持つ覚悟が必要だと思います。誰かが面倒を見てくれるだろつではなく、自分で選択し、努力することが必要です。どんな仕事に就くのか、自分の人生の中で仕事をどう位置づけるのか。私自身も長いこと働き続けてきましたが、全力で仕事をしたときもあれば、いろいろな事情で仕事にエネルギー、時間を全

### 「諦めないで続けること

「これからの女性は、女だから「無理に仕事しなくてもいい」「風呂」たりが強いのに責任のある地位に就くなんて無理」「家庭のために自分を犠牲にするのは仕方ない」といったアン「コンシャス・バイアスから解き放たれて、定年まで仕事をし、キャリアや経済力を持つ覚悟が必要だと思います。誰かが面倒を見てくれるだろつではなく、自分で選択し、努力することが必要です。どんな仕事に就くのか、自分の人生の中で仕事をどう位置づけるのか。私自身も長いこと働き続けてきましたが、全力で仕事をしたときもあれば、いろいろな事情で仕事にエネルギー、時間を全

### 年齢を重ねても

年をとつたらあまり欲をかかないで、足るを知り、分に安んず、「知足安分」と云つ」とがよく言われます。私はお金だとか地位だとか資産だとかは、「もつともつ」と思わないほうがいいだろつと思ひます。けれども、もつと社会をよくしたいとか、困つている人を助けたいとか、あることは、この地球はどうなるんだろつかとか、そげたつた」と、「もう年だから、私には関係ないわ」と思つてしまつのではないか、まだやれることがあるのではないかと云つて、年をとつても考えなければいけないのではないかと思ひます。

### 「アイウエオ老人」から 「カキクケコ老人」へ

私はいつも「アイウエオ老人」から

す。ア＝「諦める」、イ＝「ごじわる」、ウ＝「鬱<sup>うつ</sup>」、エ＝「遠慮」、オ＝「遅れて」、エ＝「鬱<sup>うつ</sup>」、イ＝「イウエオではなくて、カキクケ」、「感謝する・感動する」＝「機嫌が悪くなる人」、「機嫌よくする」＝「キ」。機嫌よくする、とても大事です。年をとると、機嫌が悪くなる人が多くなるのです。「体のいい」が不自由だ」「昔の美貌が衰えた」とか、「また失敗した」と言つて機嫌が悪くなりがちですが、意識して機嫌よく振る舞う。そして、いろいろな」とを「工夫する」＝「ワ」。次に「健康」＝「ケ」、「行動する・貢献する」＝「」。よい言葉、自分の経験から得た知恵、そうしたものを、若い人や周りの人たちに伝えるといふことがとても大事ではないかなと思います。

# 令和6年度に新しく認定された ワーク・ライフ・バランス推進企業を紹介します

※企業情報は認定当時のもの。

## 株式会社ヘッドウォータース

所在地	新宿区西新宿六丁目5番1号 新宿アイランドタワー4階
代表者	代表取締役 篠田 康介
事業	AIソリューション事業
従業員	121名(男83名、女38名)
ホームページ	<a href="https://www.headwaters.co.jp/">https://www.headwaters.co.jp/</a>

### 認定のポイント

- 育児中の従業員向けの座談会開催など、仕事と育児の両立を支援する取り組みを行っている。
- 全社員のうち90%以上がリモートワークを利用するなど、柔軟な働き方が可能である。
- 管理職者間で連携して労働時間や業務負荷を把握し、週次で仕事量の適正化を行っている。



## MIL株式会社

所在地	新宿区新宿五丁目14番12号 天翔オフィス新宿三丁目 301号室
代表者	代表取締役CEO 光岡 敦
事業	インタラクティブ動画編集プラットフォーム 「MIL」の開発・提供 「MIL」を活用したDX支援 ほか
従業員	37名(男23名、女14名)
ホームページ	<a href="https://mil.movie/">https://mil.movie/</a>

### 認定のポイント

- 仮想空間オフィスやオンライン勤務等、最新の技術を積極的に取り入れ、働きやすい環境を整えている。
- 勤怠管理システムやPCログの検証により、長時間労働が発生しないよう管理している。
- 定期的なミーティングや1on1面談により、さまざまなお話を相談しやすい環境を整えている。



## 株式会社ヘッドウォータースコンサルティング

所在地	新宿区西新宿六丁目5番1号 新宿アイランドタワー4階
代表者	代表取締役 加藤 健司
事業	DXコンサルティング AI・IoTコンサルティング
従業員	57名(男30名、女27名)
ホームページ	<a href="https://consulting.headwaters.co.jp/">https://consulting.headwaters.co.jp/</a>

### 認定のポイント

- 育児休業の取得者に向けた定期的な情報共有や、復職前のオンライン面談など、サポートを行っている。
- フレックスタイム制や短時間勤務等、柔軟な働き方が可能である。
- 女性の管理職登用を積極的に行っている(管理職8名中3名が女性)。



## 日本システム開発株式会社 東京本社

所在地	新宿区西新宿二丁目1番1号 新宿三井ビルディング8階
代表者	代表取締役社長 伊藤 健文
事業	ソフトウェア開発
従業員	172名(男145名、女27名)
ホームページ	<a href="https://www.nskint.co.jp/">https://www.nskint.co.jp/</a>

### 認定のポイント

- 小学校就学始期までの子を養育する社員は育児短時間勤務制度が利用できる。
- 満3歳までの児童を保育所や幼稚園に預けて勤務している場合、保育料を補助している。
- サブスクリプション型の研修制度があり、育児休業中の従業員も利用できる。



令和6年度 新宿区

# ワーク・ライフ・バランス 推進優良企業を表彰しました



## ワーク・ライフ・バランスアイディア賞

独自の取り組みを行い、実績のある企業

## 株式会社小山

所在地	新宿区百人町二丁目5番2号
代表者	代表取締役社長 小山 真一
事業	ねじ・設備商材等卸売
従業員	106名(男78名、女28名)
ホームページ	<a href="https://www.koyamas.co.jp/">https://www.koyamas.co.jp/</a>

※令和6年12月1日現在



令和6年社員旅行での集合写真

### 表彰のポイント

- 「従業員こそが最大の財産」という理念のもと、「従業員が心身ともに健康でなければ顧客も幸せにできない」という考えに主眼を置き、さまざまな取り組みを推進している。従業員が柔軟に働く環境を整備することにより、仕事と生活の調和が図られている。
- 法定の子の看護休暇に加え、子どもだけではなく本人の体調不良や親の看護にも使える「メディカル休暇(有給、年5日)」が取得可能である。また、中学校卒業までの子1人につき1日の特別休暇として、キッズホリデー制度を導入している。

### 従業員の声

メディカル休暇をはじめとした特別休暇等の制度が充実しています。残業が少なく、年間休日も125日ほどあり、とても働きやすい職場です。男性の育児休業の取得も推進されており、家族から「良い会社だね」と言われました。健康経営、仕事と育児の両立支援など、さまざまな取り組みがあるおかげで、従業員の満足度や定着率も上がっていると感じています。

## ワーク・ライフ・バランス特別賞

ワーク・ライフ・バランスに関して継続して努力し成果を挙げている企業

## 株式会社東京堂

所在地	新宿区四谷二丁目13番地
代表者	代表取締役社長 鈴木 勝美
事業	造花、花材、生花資材等卸売、小売
従業員	128名(男41名、女87名)
ホームページ	<a href="https://www.e-tokyodo.com">https://www.e-tokyodo.com</a>

※令和6年12月27日現在



新宿歴史博物館で地域の方と花レッスン

### 表彰のポイント

- 安全衛生委員会が中心となり、ワーク・ライフ・バランスに関するさまざまな情報をまとめた資料を作成し、従業員に配布している。役員と全従業員との個人面談を継続して行い、従業員の本音を聞き取った上で各取り組みに繋げている。
- 社会科見学の児童受け入れや、地域行事への参加など、積極的な地域貢献活動を行っている。また、新宿歴史博物館と協働で子ども向けのフラワーアレンジメント講習を開催している。

### 従業員の声

有給休暇は会社や上司から定期的に取得推奨があるため計画的に申請することができ、自宅で体を休めたり、旅行や趣味の時間に使うことでリフレッシュできます。また残業時間も会社で管理しているので、長時間の残業がなく、終業後は家族や友人と過ごし、仕事とプライベートの時間のバランスのとれた運営ができます。

## 講座レポート

# 男女共同参画の推進と 多様性をみとめあう社会づくりのために 講座を実施しています

新宿区立男女共同参画推進センター(ウィズ新宿)では、男女共同参画社会実現のために、さまざまなテーマで区民向け啓発講座を多数開催しています。今回は令和6年度に実施した3つの講座をご紹介します。

## 新宿区と区民団体との連携講座

男女共同参画に対する意識を高め、区民相互の交流を促進するため、公募により区民団体と協働で開催する講座です。

### 思考力を育てる「哲学対話」～親こそ学ぼう! 考える力～(対面講座)

区民団体の「新宿区家庭教育グループ連絡会」と協働で実施した講座です。哲学対話は子どもの思考力を育てる教育プログラムとして始まりました。哲学対話の体験を通じ、参加者のさまざまな意見に触れ、一人ひとりが思考の幅の広がりを感じることができたのではないでしょうか。「いろいろな角度からの意見があり面白かった」「固執した考えを見直せた」「相手の話に耳を傾け、これからも考え続けたい」などの意見をいただきました。多様な意見を受容し、一つのテーマをより深く考えていくことが楽しさに繋がり、満足度の高い講座となりました。

区と連携して講座を企画運営する区民団体を募集しています。概要は12ページをご覧ください。



講師: 梶谷 真司氏

## 性と生の講座

性の問題を通して、人権尊重の意識を高めるための講座です。

### 「人それぞれ」を受け入れるために～LGBTQ+を入り口に～(オンライン講座)

男女共同参画推進センター運営委員会と協働で実施した講座です。今回はLGBTQ+に関して親しい相手に相談するときにどのように話を切り出すか、相談された側はなぜ自分が知り得た個人的な情報を勝手に第三者に話してはいけないかをお話しいただきました。“相手に寄り添うこと”と“自分が安心できる居場所を探すこと”の重要さを知ることができました。受講者からは、「カミングアウトを受けたときの応答がとても参考になった」「LGBTQ+についてより理解を深めたい」などの意見をいただきました。



講師: 鈴木 茂義氏

## DV防止啓発講座

配偶者等からの暴力に関する正しい知識や理解を促進するための講座です。

### DV加害者教育プログラムの実践から見えてきたこと～よりよい被害者支援をするために～(オンライン講座)

DV被害の支援活動者向けに開催した講座です。DVに関する基礎知識を再確認し、さらに“加害者が自分の行為がDVであることに気付いて、更生への道筋を描き、努力し続けること”が被害者支援の一つへと結び付いていくという視点や活動の現状などをお話しいただきました。いかに思い込みを捨て、支配から解放できるか。相談されたときに、被害者へ二次被害を与えないための注意点についても学びました。受講者からは、「DV被害者支援のための加害者プログラムであるという観点に気付かされた」「相談業務に生かすことができる」などの意見をいただきました。



講師: 山口 のり子氏

# ワーク・ライフ・バランスで社員も企業も元気に!!

ワーク・ライフ・バランスとは、個別の事情や希望に応じて、「仕事」と「仕事以外の生活」の調和が図られている状態を言います。

柔軟な働き方ができる環境を整備することは、個人のライフステージに応じた働き方ができるだけでなく、業務効率のアップや優秀な人材が企業に定着するなどの効果が期待でき、企業の生産性向上に繋がると言われています。

## 問い合わせ先

新宿区子ども家庭部

男女共同参画課

TEL: 03(3341)0801

FAX: 03(3341)0740

## ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度

新宿区では、国や他自治体に先駆けて平成19年度から「ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度」をスタートさせ、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる企業、またこれから取り組みたいと考えている企業をサポートしています。取り組みを進めるため、コンサルタント派遣や関連するセミナーの開催などを行っています。



### 2つの区分で認定

#### 推進企業

取り組みが  
進んでいる企業

#### 推進宣言企業

これから  
取り組んでいく企業

## パパサポート企業奨励金・介護サポート企業奨励金

### 育児休業・介護休業の取得を推進する中小企業を応援します

#### 【主な申請資格等】

- ・中小企業基本法(昭和38年法律第154号)第2条第1項各号に定める中小企業者
- ・新宿区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定事業要綱に定める推進企業または推進宣言企業
- ・奨励金の種類ごとに定める支給要件を満たした企業



詳しくはこち

## ●パパサポート企業奨励金●

### ▶育児休業コース

男性従業員の育児休業取得日数に応じて  
**最大40万円** 支給

(1回目20万円、2回目・3回目各10万円)



### ▶育児短時間勤務コース

男性従業員の育児短時間勤務  
制度利用に対して

**1回につき10万円** 支給

## ●介護サポート企業奨励金●

### ▶介護休業コース

従業員の介護休業取得に対して  
**1回につき15万円** 支給



### ▶介護短時間勤務コース

従業員の介護短時間勤務制度利用に対して  
**1回につき10万円** 支給

## 一時的に保育が必要なお子さんをお預かりします

新宿区一時保育システム「ミチシルベ」で区立認可保育園・認定こども園の一時保育がオンラインで予約できます。

「ミチシルベ」  
とは?

区立認可保育園・認定こども園の一時保育を利用するための面談予約や利用予約がオンラインでできるシステムです。24時間いつでも利用できます。  
※私立認可保育園等の一時保育の利用を希望する方は、各施設へ直接お問い合わせください。



どんな人が  
利用でき  
ますか?

生後6ヶ月以上の健康で集団保育可能なお子さんの一時的な保育を必要としている区内在住の方です。  
※お子さんが認可保育園等に在籍している場合は利用できません。

利用する  
には?

二次元コードまたは下記URL  
から「ミチシルベ」  
へアクセスして申し込んでください。



<https://shinjuku.hoiku.michi-shiru.jp/>

お問合せ先

一時保育の利用に関すること ⇒ 利用を希望する各施設(「ミチシルベ」にてご確認ください。  
「ミチシルベ」に関すること ⇒ 子ども家庭部保育課入園・認定係 ☎03(5273)4527

INFORMATION



『祖父母の品格  
孫を持つすべての人へ』  
【著者】坂東真理子  
【発行】朝日新聞出版  
【初版】2025年2月

少子高齢化が進む現在、祖父母と孫の関係も変化しています。良識ある祖父母として、孫や子どもとどう向き合ったらいいのか。『女性の品格』『親の品格』の著者による知つておきたい「孫育ての心得」。著者の豊富な経験に基づいた知恵やアドバイスは親世代にもおすすめです。



『へこたれてなんかいられない』  
【著者】ジェーン・スー  
【出版社】中央公論新社  
【初版】2025年1月

ラジオや雑誌で人気を博すコラムニストによるエッセイ。社会情勢から身近な話題まで、筆者の目を通じ綴られた一冊。仕事のこと、健康のこと、家族のこと、恋愛のこと、大人はいろいろあるけれど。鋭くも温かい眼差しに元気がもらえます。

家庭でできる子育て支援

## 新宿区の子どもショートステイ 協力家庭になりませんか?



協力家庭での  
子どもショートステイとは

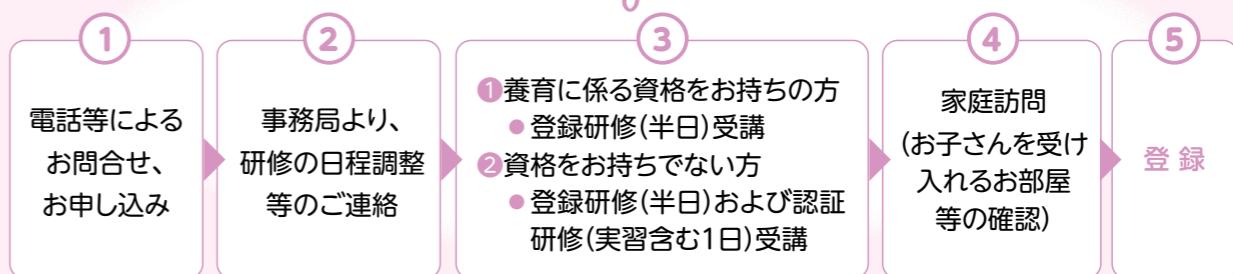


どんな人がなれますか?

保護者の入院、出産、介護、出張、育児疲れ等で、昼夜を通してお子さんを養育する方がいないときに、区内のご家庭(協力家庭)でお預かりする制度です。協力家庭には養育費が支払われます。

区内在住の方で18歳以上の同居人がいる方  
(研修を受ける必要があります)

協力家庭登録までの流れ



対象のお子さんは?



区内在住の生後60日から18歳未満のお子さん  
(協力家庭には主に3歳以上の  
お子さんをお願いしています)

どんなことをしますか?

保育園、小学校等への送迎や、食事や外出をするなど、ご家族の一員として生活をともにし、お子さんに合わせた遊びや学習の支援をしていただいています。

お問合せ先

新宿区立子ども総合センター  
子ども相談支援課事業係  
☎03(3232)8865  
※午後5時～10時にお預かりする  
トワイライトステイ協力家庭も  
あわせて募集しています。

協力家庭さん  
からの  
声

我が家の末っ子は、妹ができたように、お世話をしていました。

大人ばかりの生活が、久しぶりにぎやかになりました。

預かっているお子さんの保育園に迎えに行つたところ「もっと早くお迎えに来て。早くお家で遊びたいから」と言われて嬉しかった!

仕事一筋だった夫が、リタイア後に協力家庭をしていると、こんなにも子ども好きだったのかと発見があった。

## 募 集

# ウィズ新宿と区民団体との連携講座 男女共同参画をテーマに区と協働で講座を企画してみませんか

### 募集期間

令和7年  
12月12日(金)  
まで

区と連携して講座の企画運営をする団体を公募します。

区内で活動している団体の企画で、次の全てに該当する講座に限ります。

- ▶令和8年3月23日(月)までに対面またはYouTube配信等のオンラインで実施
- ▶男女共同参画をテーマとする
- ▶団体の構成員以外も受講できる
- ▶営利・宗教・政治目的ではなく、受講料を徴収しない

など

### 【団体のメリット】

- ①講師謝礼は区が負担  
(※区の基準上限額まで)
- ②区広報等に講座の案内を掲載
- ③団体が作ったチラシを、出張所や図書館等の区施設に配架

詳しくは、区のホームページからチラシ(応募要項)をダウンロードするか、  
男女共同参画課 03(3341)0801までお問い合わせください。  
[http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/danjo01\\_001057.html](http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/danjo01_001057.html)



## これから開講予定の講座

### オンライン講座

#### ①性差医療を知っていますか?

～生涯を通じて女性が健やかに過ごすために～

配信期間: 7月13日(日)まで

講師: 天野 恵子氏(日本性差医学医療学会理事、静風荘病院特別顧問)

### 対面講座

#### ②教えてちい先生「パパとつくる工作教室」

日時: 7月26日(土)午前10時～12時

会場: 男女共同参画推進センター(ウィズ新宿)3階会議室

講師: 井上 智陽氏(イラストレーター・手作りおもちゃ講師)

令和7年度ウィズ新宿の  
講座はこちから



### 令和7年度

## 『ウィズ新宿』編集委員会が スタートしました

新宿区では、公募の中から選ばれた区民の編集委員と区の協働で、年間1回『ウィズ新宿』を発行しています。5月には4名の委員が2日間の編集講座で編集の基礎や男女共同参画について学びました。6月からは次号148号(令和7年12月発行予定)に向けて、編集会議を重ねながら記事を執筆していきます。どうぞご期待ください。



▲編集講座の様子

### 編集後記

今号は、令和6年度男女共同参画フォーラムで行われた坂東真理子さんの講演を中心にお届けしました。現代社会におけるジェンダーやアンコンシャスバイアスについて深く考えさせられる内容となっております。読者の皆さまがさまざまな“思い込み”から脱却し、ご自身の働き方や生き方について改めて考えるきっかけとなれば幸いです。

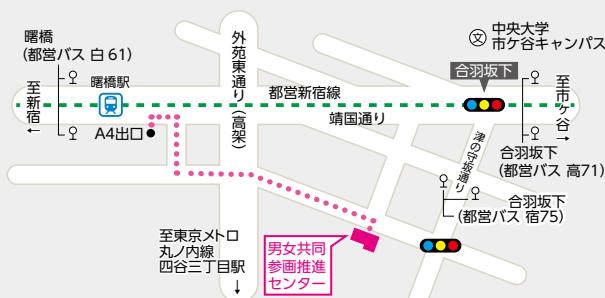


発 行 | 新宿区子ども家庭部男女共同参画課  
新宿区立男女共同参画推進センター

〒160-0007 東京都新宿区荒木町16番地  
TEL:03(3341)0801 FAX:03(3341)0740

発行日 | 令和7年6月30日

この印刷物は再生紙を使用しています。



駐車場・駐輪場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。